

令和5年度 大阪府立港南造形高等学校

第1回 学校運営協議会 議事録

開催日時	令和5年6月22日(木) 15:00~17:00
開催場所	本校 本館1階 ガイダンスルーム
出席者(委員)	美濃 幸男 会長、渡邊 美香 副会長、宮原 康 委員、文野 忍 委員 寺田 摩弥 委員
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、首席(人権教育推進委員長)、教務部長、生徒指導部長、 進路指導部長、総務部長、保健部長、造形科長、第1学年主任、第2学年主任、 第3学年主任 合計13名
傍聴者	なし
意見書	なし
協議会資料	学校運営協議会 実施要項 令和5年度 学校教育計画 学校令和5年度 学校経営計画、スクールポリシー資料、分掌・委員会・学年報告資料
備考	なし
議題等	1 開会の挨拶(校長) 2 委員紹介(教頭) 3 学校より報告 4 会長・副会長選出 5 協議 6 閉会のあいさつ・諸連絡

議事内容・承認事項等(意見の概要)

- 1 開会の挨拶(校長)
 - ・5月8日よりコロナの分類がインフルエンザと同じ区分5類となり、すべての教育活動が今年度当初より、制限なしで実施できている。
 - ・40年の本校実績や伝統を大切にしつつ、新たな事業を実現する1年にしていきたい。
 - ・令和5年度学校経営計画について、この2年間でできなかったことを実施していきたい。
- 2 委員紹介
本日配布資料の説明(教頭)
- 3 学校より報告
 - (1) 令和5年度、本校教育活動の進捗状況(校長)
 - ・「めざす学校像」は、めざすところを日本一の専門美術高校から専門造形高校に変更。工芸高校との差別化を図り、総合造形科という大阪独自の教科名を強調。
 - ・ICT教育の推進について、単焦点プロジェクター及び1人1台端末の効果的な活用を模索し活用を推進。
 - ・スクール・ポリシーについて

本年度の取り組み内容

- ② 卒業生による講演会『ようこそ先輩』を全学年に拡大した形で実施 7/11
- ② 国際交流行事の再開 姉妹校である台湾台中第一高級中学校の来校交流 5/29
- ③ イタリア海外研修の復活 1月2週目
- ④ 小中学校教員対象実技研修の開催 定員70名 8/24
- ⑤ 文化祭の活性化と住之江支援学校との連携拡大
- ⑥ R6年度 本校40周年記念イベント構想 実行委員会立ち上げ
- ⑦ R8年度 全国高等学校美術工芸教育研究会大阪大会招致

(2) 各部・科より報告

■教務部

- ①年間行事予定
- ②新教育課程について

■生徒指導部

- ①本年度の生徒指導方針について ②本年度新たに始まった取り組み
③昨年度から継続の取り組み ④身だしなみ等について

■進路指導部

- ①各種進路説明会実施状況 ②就職指導について ③進学指導について
④3年生(19期生)進路希望について(6月1日現在)

■保健部

- ①各種検診について ②防災避難訓練について ③各種講習会について

■総務部

- ①本校の広報 ②生徒会活動及び、部活動 ③体育祭 ④文化祭
⑤ 蒼風会

■庶務・PTA

- ①PTA活動について

■人権推進委員会

- ① 人権教育について ②教員対象の人権研修について

■造形科

- ①実習授業について ②高校展について

■第1学年

- ①在籍者数 ②学校生活について ③修学旅行について(R6.10月)

■第2学年

- ①在籍者数 ②修学旅行について ③進路希望調査

■第3学年

- ①在籍者数 ②進路指導について ③学校生活について

4 会長・副会長選出

会長 美濃 幸男 委員 副会長 渡邊 美香 委員
賛成多数で選出された

5 協議(議長 美濃委員)

(委員)

- ・学校で遅刻、欠席が増えている報告を受けて心配である。
- ・コロナ前後で大学も全然違う。オンデマンドの授業の影響か。
- ・中、高で欠席者が増え、その後大学に入学してくる。どのように指導していけばいいのか。対面式の授業のメリット。
- ・地域や外部との連携、国際交流など、生徒にとっていい意味で刺激になり良い方向に動いていると思う。
- ・『ようこそ先輩』を全学年に実施、良い試みだと思う。身近な年齢の先輩の話の方が説得力があると思う。

(委員)

- ・『ようこそ先輩』の企画がすごくいい。
- ・小中学校教員対象実技研修すごく期待している。小さな子どもほど後々、いい影響をもたらす。教える側、先生の存在が大事。
- ・学校側がコロナ前に戻り先生方がたいへん忙しくなってきたと思う。
- ・第2学年修学旅行について、青森の美術館など充実していていい場所。見どころが多い。

(委員)

- ・令和5年度学校経営計画及び1年間の方針、進捗状況、そのまま進めていただきたい。
- ・コロナ前の状況に戻ってきている印象を受ける。
- ・社会に開かれた学校として生徒たちの状況からの手ごたえを感じる。どのようにして継続させていくかが課題。
- ・小中学校教員対象実技研修が形になっていたのも年度末の報告を楽しみにしている。

(委員)

- ・小中学校教員対象実技研修すごく期待している。小学校にICT支援委員として仕事しているが同じような作品が並んでいることが多い。子どもは枠の中に入りがち。発想や柔軟性を伸ばしていただきたい。

(委員)

- ・国際交流について、若い人たちが交流することはいいこと。文化の違いがいい刺激になる。

(委員)

- ・お話を聞いていろいろ勉強になりました。港南造形高等学校のベースは変わらず新しい試みが増えていてすばらしい。
- ・体育祭、3団の団旗・マスコットが揃ったのがすごい。
- ・生徒指導で身だしなみや遅刻について「大人としての行動」を意識させることがすごく良いことだ。高校生から身につけていくことが自覚にもつながる。
- ・痴漢被害防止講習の取り組みがいい。
- ・学校説明会の参加人数が増加、学校が活発になることはすごくうれしい。
- ・第2学年、文化祭「ねぶた制作」は、修学旅行に関連付けた取り組みとして効果的。伝統文化の後継者が少ない中、そういう道もあるのだということに気づかせるのでは。
- ・学校での奨学金説明会は、保護者にとっても心強く、安心できる企画。継続していただきたい。

6 閉会のあいさつ

(校長)

たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございます。皆さんからいただきましたお言葉で、向かう方向が間違っていないという確信を得ました。引き続き本校の教育活動にご支援ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

諸連絡

次回 第2回協議会は、12月初旬に予定